

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の
天然記念物

かんけい じょうほう 関係のある情報

【場所】 笠岡市走出
【時代】 樹齢約300年以上
【指定年月日】 平成8年7月2日
【所有】 持宝院
【見学】 可



じほういんのやまもも 持宝院のヤマモモ

かんけい しまち
関係する市町

かさ おかし
笠岡市



てんねんきねんぶつ この天然記念物について

このヤマモモは、^{はしり}走出の^{こうやさんしんごんしゅうじほういん}高野山真言宗持宝院にあり、まるで
^{つちかべ}土壁に寄りかかるように^{かたむ}南に傾いて伸び、^{へい}塀の外まで枝を伸ば
しています。幹の^{しゅうい}周囲2.8m、根元^{しゅうい}周囲約6m、高さ約11m、
^{すいていじゅれい}推定樹齢約300年で、^{きよじゅ}県下有数のヤマモモの巨樹です。

このヤマモモの木を取り込むように^{へい}塀をこしらえてあること
から、塀を作った享保年間（1716～1736）にはすでに^{ていど}ある程度
の大きさに達していたと思われます。